

## Unit3 Let's go to Italy.

おすすめの国や地域とその理由などについて、  
自分の考えや気持ちを含めて話すことができる

第8時	後期段階	世界と日本についての理解を深める
第7時		★おすすめの国や地域とその理由などについて紹介し合い、 ナンバーワンツアーコンダクターを決めよう
第6時		よりよい発表にするために、単元のめあてや自分の課題に向けて 考えて取り組む
第5時		自分の発表の様子を録画し、課題を把握する
第4時	初期段階	おすすめの国について調べ、紹介内容を考える
第3時		地図帳をもとに、自分の選んだ国を紹介する
第2時		教科書をもとに、旅行をすすめる表現を使う
第1時		モデル動画を見て、単元を中心となる言語活動について知る 新滋賀県モデル「CAN-DOリスト」とのつながりを確認する

# 令和4年度外国語科教育に関する研究

## 【実践授業Ⅰ 第6学年】

1 単元名 「Unit 3 Let's go to Italy.」(東京書籍 NEW HORIZON Elementary English Course 6)

2 単元の目標

ALT や友達に世界の国々のよさを伝えるために、おすすめの国や地域とその理由などについて、自分の考えや気持ちを含めて話すことができる。

3 単元の言語材料

- ・ Let's go to (Italy).                      ・ (Italy) is (a nice county).
- ・ You can (eat pizza).                    ・ It's (delicious).
- ・ 国 (Egypt, America, Italy, China, Russia, Peru, Thailand, India, Germany)など
- ・ 様子 (good, great, nice, fantastic, wonderful, beautiful, cool, cute, favorite, interesting, exciting, famous)など
- ・ 動作 (see, eat, drink, buy, enjoy)など
- ・ 食べ物(pizza, hamburger, sausage, steak, spaghetti)など
- ・ 味 (bitter, sweet, salty, sour, spicy, delicious, soft, hard, cold, hot)など

4 関係する領域別目標

話すこと[発表] ウ

身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

※本単元における「聞くこと」及び「読むこと」、「書くこと」については目標に向けて指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。

5 新滋賀県モデル「CAN-DO リスト」とのつながり

話すこと[発表] レベル②

前もって準備した既習の内容であれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、基本的な表現を用いて話すことができる。

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと[発表]	<p>&lt;知識&gt;</p> <p>・ ~is… You can ~. It's ~. の表現について理解している。</p> <p>&lt;技能&gt;</p> <p>・ ~is… You can ~. It's ~. などおすすめの国や地域と、その理由を表す表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。</p>	<p>・ 世界の国々のよさを伝えるために、おすすめの国や地域とその理由について、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の考えや気持ちなどを含めて話している。</p>	<p>・ 世界の国々のよさを伝えるために、おすすめの国や地域とその理由について、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。</p>

7 「話すこと[発表]」に焦点をおいた単元の指導と評価の計画（全8時間）

時	目標◆・活動○	評 価			
		知技	思 判 表	態 度	評価規準<評価方法>
1	<p>◆世界の有名な食べ物や建物などについての紹介を聞いておおよその内容を理解する。</p> <p>○Greeting</p> <p>○JTEは、ALTに行ってみたい国について尋ねる。 また、同様にALTがJTEに行ってみたい国を尋ねる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>JTE: Where do you want to go? ALT: I want to go to China. China is a nice country. JTE: Why do you want to go to China? ALT: Because we can see pandas. JTE: Oh, I see. Do you like pandas? ALT: Yes, I do. Pandas are very cute. I like pandas very much. And you can eat Peking duck. I want to eat it. JTE: That's nice!</p> </div> <p>○児童は、ALTとJTEのやり取りから気付いたことや分かったことを発表する。 (例) ALTの先生は、中国へ行きたい。 5年生の時に学習したcanが使われていた。 など</p> <p>○ルーブリックで、単元の目標を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>世界の国々のよさを伝えるために、おすすめ の国や地域とその理由などについて、自分の考 えや気持ちを含めて話すことができる</p> </div> <p>○単元の中心となる言語活動のモデル動画を視聴する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A : Hello. B : Hello. A : Welcome to my shop. A : China is a nice country. You can see the Great Wall. Do you know this wall? B : No, I don't. A : It's very long and old. You can see pandas. Do you like pandas? B : Yes, I do. A : Pandas are very cute! You can eat Peking duck. It's a famous Chinese food. It's very delicious. Let's go to China. Thank you for listening. A : Thank you.</p> </div> <p>※モデル動画は、1人1台端末に保存されていることを伝える。</p>				<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p> </div>

	<p>○Today's Goal</p> <p>○Let's Sing(p.23) : I want to go to Italy.</p> <p>○Let's Chant(p.23) : Where do you want to go ?</p> <p>○Word Link(PD p.16) : 「国」の単語をALTについて復唱する。</p> <p>○Starting Out(pp.22-23) : No.1~5について1回目は英語を聞いて、内容に合う絵を見つける。聞こえた内容や表現について話し合う。No.6~7についても同様の活動を行う。</p> <p>○「新滋賀県モデル『CAN-DO リスト』」に照らし合わせて「話すこと[発表]」のレベル②につながることを確認する。</p> <p>○Reflection</p>			
2	<p>◆旅行をすすめる表現を使ってたずね合う。</p> <p>○Greeting</p> <p>○Today's Goal</p> <p>○Let's Sing(p.23) : I want to go to Italy.</p> <p>○Let's Chant(p.23) : Where do you want to go ?</p> <p>○Word Link(PD p.8) : 「食べ物」の単語を復唱する。</p> <p>○Small Talk : ペアで Picture Dictionary (p.8)の絵を見て、やり取りをする。</p> <div data-bbox="244 869 724 960" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A : What do you want to eat? B : I want to eat (a hamburger).</p> </div> <p>○Let's Listen① : 音声を聞き、答えに○を付ける。</p> <p>○Let's Listen② : 音声を聞き、答えを線でつなぐ。</p> <p>○Activity : 1人1台端末に保存されたカードを使って、ペアでやり取りをする。</p> <div data-bbox="236 1128 665 1310" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A : You can see (koalas). It's (cute). What's this country? B : It's (Australia). A : That's right.</p> </div> <p>○Sounds and Letters</p> <p>○Reflection</p>			<div data-bbox="847 645 1469 837" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p> </div>
3	<p>◆地図帳で選んだ国や地域への旅行をすすめる表現を使って紹介する。</p> <p>○Greeting</p> <p>○Today's Goal</p> <p>○Let's Sing(p.23) : I want to go to Italy.</p> <p>○Let's Chant(p.23) : Where do you want to go ?</p> <p>○Word Link(PD p.11,29) : 「味など」「様子」の単語を復唱する。</p> <p>○Let's Try③ : 地図帳で行ってみたいおすすめのお国を調べ、国名やできることなどを記入する。</p> <p>○Activity : 記入したものを使って、グループで簡単な紹介をする。</p> <div data-bbox="236 1805 665 1919" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>A : You can eat yogurt. It's sour. I like it. B : That's nice.</p> </div> <p>○Sounds and Letters</p> <p>○Reflection</p>			<div data-bbox="847 1491 1469 1684" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p> </div>

4	<p>◆社会科の地図帳や1人1台端末等を使っておすすめの国や有名なものについて調べ、紹介する表現を考える。</p> <p>○Greeting ○Today's Goal ○Let's Sing(p.23) : I want to go to Italy. ○Let's Chant(p.23) : Where do you want to go ? ○Word Link:端末に保存されているカードを使ってペアで単語の練習をする。(PD p.16,29) ○ALT(話し手)と JTE(聞き手)で単元を中心とする言語活動のモデルを再度示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A : Hello. B : Hello. A : Welcome to my shop. A : China is a nice country. You can see the Great Wall. Do you know this wall? B : No, I don't. A : It's very long and old. You can see pandas. Do you like pandas? B : Yes, I do. A : Pandas are very cute! You can eat Peking duck. It's a famous Chinese food. It's very delicious. Let's go to China. Thank you for listening. A : Thank you.</p> </div> <p>○JTEは、発表の際に1人1台端末で作成した資料や自分で描いたポスター、家や学校にある実物等を活用してよいことを伝える。 ○Activity:おすすめの国や地域の有名な建物や食べ物などについて資料を読んだり、1人1台端末を活用したりして調べる。調べたことをスライドにまとめ、発表の際に活用できるようにする。 ○Reflection</p>		<div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p> </div>
5	<p>◆発表を1人1台端末を使って録画し、自分の課題を把握する。</p> <p>○Greeting ○Today's Goal ○Let's Sing(p.23) : I want to go to Italy. ○Let's Chant(p.23) : Where do you want to go ? ○Word Link: 端末に保存されているカードを使ってペアで単語の練習をする。(PD p.8,11) ○Small Talk : 日本の行きたい地域について、ALTと JTE のやり取りを聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A : Where do you want to go in Japan? B : I want to go to (Kyoto).</p> </div> <p>○前時で考えた発表内容をもとに、発表の練習をする。 ○ペアで互いの発表の様子を録画する。自分で確認したり、グループ内で相互評価をしたりする。 ○世界の国々のよさを伝える発表にするために、次時の自分の課題を見つける。 ※必要に応じて1人1台端末でモデル動画を視聴するように促す。 ○Reflection</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">発</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【「話すこと[発表]」の記録に残す評価】 ◎世界の国々のよさを伝えるために You can ~.It's ~.などの表現を用いて、おすすめの国やその理由について話している。(行動観察) ◎世界の国々のよさを伝えるためにどのような表現がよいか考えている。(行動観察) ・児童がおすすめの国やその理由について話している様子を見取る。また端末を用いて記録に残し評価に生かす。</p> </div>

6	<p>◆よりよい発表にするために、自分の課題に向けて取り組む。</p> <p>○Greeting ○Today's Goal ○Let's Sing(p.23) : I want to go to Italy. ○Let's Chant(p.23) : Where do you want to go ? ○Word Link: 端末に保存されているALTのスライドを使って、単語の練習をする。 ○発表をよりよいものにするために、どのような点について改善するとよいと思うか、全体で交流する。 ※必要に応じて、モデル動画を活用する。 ○前時に録画した発表の動画から、自分の課題を確認する。また、グループの友達と相互評価をすることで改善の新たな視点を獲得。 ○Activity : 自分の発表の様子を録画して自分自身で振り返ったり、友達に聞いてもらったりしてよりよい発表になるように考えて取り組む。 ○さらに調べたいことがある場合は、端末やガイドブックを活用して調べる。資料を修正しながら、自分の課題に向けて取り組む。 ○児童の活動の様子を見て、必要に応じて全体交流の場を設ける。 ○本時の最後の発表の姿を1人1台端末で記録しておく。 ○Read and Write ○Reflection</p>		発	<p>発</p> <p>【「話すこと[発表]」の記録に残す評価】 ◎世界の国々のよさを伝えるために友達からのアドバイスや1人1台端末の録画を活用して、おすすめの国やその理由について考えて話している。(行動観察) ◎よりよい発表にするために、学習の進め方を考えている。(行動観察) ・児童がおすすめの国やその理由について話している様子を見取る。また端末を用いて記録に残し評価に生かす。</p>
7	<p>◆おすすめの国やその地域とその理由について紹介し合う。</p> <p>○Greeting ○Today's Goal ○Let's Sing(p.23) : I want to go to Italy. ○Let's Chant(p.23) : Where do you want to go ? ○Activity : 1人1台端末に保存した動画を活用して、前時の発表の様子を振り返り、自分のめあてを確認する。 ○単元を中心となる言語活動を行う。 ○聞き手の児童は、英語で感想を述べる。</p> <div data-bbox="240 1373 794 1496" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【例】 I like (            ),too. I want to see (            ). I want to go to (            ).</p> </div> <p>○単元の目標が達成できたか振り返る。</p> <div data-bbox="188 1552 821 1675" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>世界の国々のよさを伝えるために、おすすめの国や地域とその理由などについて、自分の考えや気持ちを含めて話すことができる</p> </div> <p>○Reflection</p>		発	<p>【「話すこと[発表]」の記録に残す評価】 ◎世界の国々のよさを伝えるために You can～.It's～.などの表現を用いて、おすすめの国やその理由について自分の気持ちや考えを話している。(行動観察) ・児童がおすすめの国やその理由について自分の気持ちや考えを含めて話している様子を見取る。また、端末を用いて記録に残し、パフォーマンス評価に生かす。</p>
8	<p>◆世界遺産について考え、世界と日本についての理解を深める。</p> <p>○Greeting ○Today's Goal ○Let's Sing(p.23) : I want to go to Italy. ○Let's Chant(p.23) : Where do you want to go ? ○Small Talk : Do you like traveling? ○Over the Horizon(pp.28-29) : 世界遺産についての映像を視聴し、世界と日本の文化について考える。</p>	<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>		

	<p>○単元全体を振り返り、「新滋賀県モデル『CAN-DO リスト』」と照らし合わせてできるようになったことを確認する。</p> <p>○Reflection</p>				
--	---	--	--	--	--